

方言と観光文化

—方言絵はがきの考察を中心に—

大 橋 敦 夫

1. はじめに

いわゆる「方言グッズ」⁽¹⁾の調査・分析は、日高貢一郎氏によって主導されてきた⁽²⁾。近代以降の方言に対する価値転換の中で、方言は撲滅の対象から娯楽の対象となり⁽³⁾、「方言グッズ」は近年その裾野を広げているが、方言絵はがきそのものの作成はやや下火である。実際、信州方言を対象にしても、現在のところ、方言絵はがきは見出せないでいる⁽⁴⁾。架蔵の方言絵はがきもすべてが戦前のものである（別表参照）。

本稿では、戦前期の方言絵はがきが語る情報をもとに、「方言グッズ」の今昔をふり返り、方言と観光文化のありようを考察してみたい。

2. 方言絵はがきが語ってくれること

方言そのものの商品化が多様化する中にあって、方言絵はがきは、すでに過去の物になりつつある。収集に乗り出しても、現在、土産物品店の店頭にはその姿はなく、古書店の扱う絵はがきの中に、見出すことになる。いきおい戦前の物が殆どで、戦後の物はまれである（別表参照）⁽⁵⁾。その背景には、日常のコミュニケーションの手段が「手紙・はがき→電話→携帯電話・メール」と変化したことが大きいと考えられる。

逆に、現在ほど「方言グッズ」が多様化していなかった戦前にあって、方言絵はがきが存在していたことの意義は大きいと思われる。架蔵品は、すべてを網羅したものではないが⁽⁶⁾、戦前期の方言絵はがきの特徴の一端を捕らえることは可能と考え、以下の点を挙げてみたい。

(1) 地域的な偏在

東北各地・北陸・愛知（名古屋）・関西（京都・大阪）・九州（博多・鹿児島）は、特に方言絵はがきの種類の多い地域である。これは、井上史雄氏（2000, p.160）が指摘する「方言集に『矯正・改良・訛り』などのついた県（青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島・茨城・山梨・静岡・愛知・和歌山・兵庫・福岡・熊本）」とも、ある程度一致する。言い換えれば、方言特徴の明確な地域で比較的多く作成されている。

（2）専門店が存在

山形では、吉野屋エハガキ店（山形市）が、名古屋では、菊花會が、博多では、周水堂が、それぞれ旺盛な活動をしていたようである。

また、郷土名蹟顕彰会・秀英堂・島田整美堂（大阪市）は、地元外の商品も手がけている（郷土名蹟顕彰会・秀英堂は、ともに加賀ことば・京ことばを作成）。特に島田整美堂は、「備後ことば」の袋の広告によると、このほか各6枚組で少なくとも12種（鹿児島・博多・出雲・土佐・大阪・江戸・京・名古屋・岡山・新潟・仙台・津軽）を出している。

（3）典型的な方言（俚言）が見出せる

架蔵の戦前の方言絵はがきは、すでに60年以上前のものを多く含むが、他の地域にも知られた典型的な方言（俚言）が多く見出せる。

①「青森縣津軽方言えはがき 第一輯」

へバ、ガゲ ノマヘヘンガ（そんなら お酒を 飲ませなさいよ）

②「山形の方言くらべ」

かがはん（母さん） おつつあん（父さん） おがた（妻）

③「加賀ことば 第一集」

見さつしやいま（御覧ナサイ） 見まつしま（御覧ナサイ）

④「真正 加賀ことば」

ア、 ハイダルイ（あ、 疲れた）

ダチャカン ダチャカン（駄目ですよ、駄目ですよ）

⑤「趣味のゑはがき 加賀ことば」

お祭りに行くがやぞ (ユキマセウヨ)

⑥「名古屋言葉 第壱輯」

ヤットカメで いりやゝたナモ (久しぶり いらっしゃいましたネ)

⑦「京ことば入 都日記 第一集」

御所はどつちの方か知つといやすか／あつちの方どすやろ

⑧「大阪みやげ 言葉がおもしろい」

道頓堀 大阪中でいつでも一番賑やかな所はこゝだす。何しよ芝居の本場だすよつてな。

⑨「上方言葉説明附 大阪名所ゑはがき」

梅田停車場 サスガワ大阪ダンナ、玄関口カラ客ノ乗り降り、ニーノ揚げ
オロシノ数ノ多イコトハ ドエライモンデツセ

⑩「土佐言葉」

コレガ サツチャウ レンガフ ノ サカモトセンセイ ノ ドウザウ
ヂャ (これが薩長連合の坂本先生の銅像です)
オマン ドコヘ イキヨル ゼヨ (お前さん何処へ行ってゐますか)

⑪「博多言葉繪葉書」

こゝが那珂川ぢやけん橋バ渡らんならんバイ

⑫「肥後俚謡 熊本ことば 漫画入」

熊本なまり うまか (旨い) がまだす (働く) せからしか (うるさい)
こぎやん (コンナニ) そぎやん (ソソナニ)

⑬「方言エハガキ 鹿児島ことば」

オハンナ ドケ オヂヤンスカ (汝 (アナタ) は何処へ御出なさいますか)

松田正義氏は、方言の残存率から方言語彙を4分類する方法を示された。すなわち、強力語 (100~90%)・残存語 (100~50%)・準廃語 (49~10%)・廃語 (9~0%)である⁽⁷⁾。上記の典型的な方言 (俚言) は、強力語とも言うものであろう。

(4) 「娯楽」の要素が強い

「方言エハカキ 備後ことば」（島田整美堂）の袋裏には、次のような「方言絵はがき発行の趣旨」が印刷されている。

地方の人、大阪に来る、上方言葉の訛多く且つ其の対話の早口にして解し難きに悩む、大阪の人また地方人の言葉遣ひが聞苦しく、其訛語の滑稽的なるを笑ふ、独大阪のみならず、全国到る處、この不便にして聞苦しき方言訛語を平氣に使用しつつあり、方言絵葉書ハ一々是れを指摘して反省を促し言語の矯正に資する為に発行するものなり

方言撲滅時代の申し子のような「趣旨」だが、内容を見ると、(3)にも、その一部を挙げたとおりで、方言の違いを楽しんでいる雰囲気を感じ取れる。他の方言絵はがきのタイトル全般を見渡しても、方言そのものを楽しんでいる様子（「これはおもしろい」「抱腹絶倒」等のタイトル）が濃厚である。したがって、方言絵はがきの世界では次の「方言娯楽」の時代を先取りしていると言える。

戦前の「方言グッズ」の全貌を明らかにするのは容易ではない。が、架蔵の方言絵はがきから見る限り、方言絵はがきの世界では、方言撲滅の時代にあって、方言を大らかに楽しむ方言娯楽の世界が確立していたようである。それは、戦後の方言娯楽の時代、さらには「方言グッズ」多様化の時代の下地となったと考えられる。可能ならば、製作者の意図を探り、更に買い手側の感想も聞き取り調査をし、小論の裏付けをはかりたい。

3. 方言と観光文化の現状と将来

「地産地消」「スローライフ、スローフード」をキーワードに地域の生活・文化の見直しの気運が高まりつつある。その中にあって、方言は言語生活の中核をなすものと言える。方言グッズは、ますますその裾野を広げていくことであろう。

商品にあしらわれた場合は、製作者の意図に迫り難い面もあるが、他の事例とも合わせ見ることで、その地域の方言の活力や将来像を見通していきたい。

[注]

1. 考察の対象となるのは、方言に関わる次のような事例である（日高氏1996参照）。

(1) 方言そのものの商品化

（例） 観光みやげ品，方言番付，方言手拭い，方言絵はがき，方言ネクタイ，テレホンカード，看板・掲示，ポスター・横断幕

(2) 方言によるネーミング

（例） 駅弁，お菓子，日本酒・焼酎・ワイン，地域限定ビール，インスタントラーメン，会社名・団体名，ミニ共和国，催し物・イベント・祭，記念碑，キャッチフレーズ，情報誌・ガイド本・単行本，パソコンのソフト

(3) その他、方言に関する事例

（例） 方言弁論大会，歌謡曲・フォーク・民謡，ラップ，漫画，小説，方言詩，しゃれことば・ことば遊び，方言への翻訳，テレビドラマ・演劇・漫才・落語，コマーシャル，方言ニュース，新聞の見出し・記事，看護学校の講義題目，医学方言集，カーナビゲーション

2. 日高氏（1991）は宮崎方言を対象とされた。他の地域では、外山正恭氏（1996）が新潟方言を対象に調査を進められている。信州方言については、小生のゼミ学生によるまとめがある（臼井美喜・善財由貴（2003））。

3. 井上史雄氏（2000，p.153）は、「方言の社会的類型」を次のようにまとめておられる。

| | 類 型 | 時 代 名 | 時 代 | 価値評価 | 使用能力 |
|--------|------|--------|-------|------|-------|
| 前史 1 | 方言蔑視 | 京言葉の時代 | 江戸前期 | 独立 | 方言優位 |
| 前史 2 | 東西対立 | 江戸語の時代 | 江戸後期 | 独立 | 方言優位 |
| 第 1 類型 | 方言撲滅 | 標準語の時代 | 明治～戦前 | マイナス | 方言優位 |
| 第 2 類型 | 方言記述 | 共通語の時代 | 戦後 | 中立 | 両立 |
| 第 3 類型 | 方言娯楽 | 東京語の時代 | 戦後～平成 | プラス | 共通語優位 |

4. 臼井美喜・善財由貴（2003）では、土産品は皆無に近く、和菓子などの一般商品や店名（居酒屋・飲食店等）に数例を見出している。

5. 個人で作成する例（渋谷龍一氏「つがる弁絵はがき」1987等）は見られるものの、商品（土産物）としての存在はなかなか発見できない。

6. 「全国方言大会」の開催で知られる山形県三川町には、故徳川宗賢先生収集の方言絵はがき150点ほどが寄贈されているとのことである。(架蔵は別表の通りで62点。)
7. 松田正義氏『古方言書の追跡研究』(明治書院 1978.3) p.71

【参考文献】

■方言全般

井上史雄『日本語の値段』(大修館書店 2000.10)

■方言グッズ関係

日高貢一郎「宮崎における方言グッズ」

(『国語の研究』15<大分大学国語国文学会>1991.3)

外山正恭「新潟における方言グッズを観る」

(『高志路』314<新潟県民俗学会>1996.12)

日高貢一郎「方言の有効活用」小林隆ほか編『方言の現在』(明治書院 1996.3)

臼井美喜・善財由貴「信州方言グッズ考現学」『平成14年度卒業研究修了研究集』

(上田女子短期大学 国文科・日本文化学科 2003.3)

■絵はがき関係

野島寿三郎編『ペーパーコレクション入門 紙くず収集百科』

(日外アソシエーツ 2003.2)

林 宏樹編『ニッポンのかわいい絵葉書 明治・大正・昭和』

(グラフィック社 2003.5)

『俳書月刊』216(弘隆社 2003.8) 特集 絵葉書蒐集家

[付記]

本稿は、上田女子短期大学第24回公開講座「観光文化の現状と将来」(2003.8.30)において、「方言と観光文化」と題して述べた内容の一部をまとめたものである。講座終了後、受講生の皆様から「方言グッズ」に関するさまざまな情報をお寄せいただいた。その取りまとめについては、別稿を準備し、御礼に代えたい。

★別表 架蔵「方言絵はがき」収集一覧

| 府県名 | タ イ ト ル | 写真／絵 | 袋 枚数 | 内 容 | 〔発行所〕 | |
|-----|---------------------|-----------|-----------------------|-------------------|-------|--|
| 青 森 | 青森縣津軽方言えはがき | 第一輯 絵袋 8 | 会話 (村のこどもなど) * | 小冊子「津軽方言の簡単な解説」付き | 〃 | |
| | 青森縣津軽方言えはがき | 第二輯 絵袋 10 | 会話 (子守・おやつなど) | | | |
| | — | 写— 8 | 俚言～共通語 | | | |
| | 青森縣南部方言えはがき | 絵袋 6 | 会話 (南部馬など) | | | |
| | 南部方言絵端書 | 絵袋 8 | 会話 (南部馬など) | | | |
| 岩 手 | 盛岡方言 | 写袋 8 | 写真に啄木の詩 | 〔盛岡市本町郷土詩社〕 | | |
| 宮 城 | これはおもしろい 仙台辯 | 写袋 8 | 会話 (ある土産物店にて・仙台の四季など) | 〔岩手共同出版社〕 | | |
| | 皇軍慰問 仙臺方言 | 絵袋 13 | 会話 (仲見世・たなばたなど) | | | |
| 秋 田 | 秋田方言 | 絵袋 6 | 独話 (なまはげ・竿燈など) | | | |
| 山 形 | 庄内ことば | 写袋 8 | 会話 (結婚適齢期・お買物など) | 〔吉野屋エハガキ店〕 | | |
| | これは面白い 温海ことば | 写袋 7 | 会話 (温海のうまいものなど) | | | |
| | — | 写— 2 | 会話 (買物など) | | | |
| | 慰問のお便りは山形方言集 | 写袋 8 | 会話 (元旦の朝・お掃除など) | | | |
| | 山形の方言をたづねる | 写袋 12 | 会話 (元旦の朝・お掃除など) | | | |
| | カメラ行脚 山形ことば | 写袋 6 | 説明 (さくらんぼもぎなど) | | | |
| | 山形の方言くらべ | 写袋 9 | 説明 (最上川など) | | | |
| 福 島 | 東山温泉とこれはおもしろい 會津ことば | 写袋 9 | 会話 (東山の名勝地など) | | | |
| 富 山 | 越中ことば おはらぶし 富山縣 | 絵袋 7 | 会話 (番付あり) | | | |
| | 趣味のゑはがき 越中ことば | 絵袋 8 | 会話 (地域別：黒部地方・伏木港など) | | | |
| | とやま言葉 | 写絵袋 5 | 会話 (来客など) | | | |
| 石 川 | 加賀ことば | 絵袋 8 | 会話 (あいさつなど) | | | |
| | 加賀ことば 滑稽笑の泉 | 写絵袋 8 | 会話 (あいさつなど) | | | |
| | 加賀ことば 第一集 | 絵袋 4 | 対話 (隣組慰問隊など) | | | |
| | 加賀ことば 第二集 | 絵袋 4 | 対話 (必勝祈願など) | | | |
| | 真正加賀ことば | 絵袋 8 | 会話 (金沢城スナップなど) | | | |
| | 加賀ことば | 絵袋 8 | 会話 (買物など) | | | |
| | 加賀ことば | 絵袋 8 | 会話 (漁師の行商など) | | | |
| | 趣味のゑはがき 加賀ことば | 絵袋 8 | 会話 (香林坊など) | | | |
| 福 井 | 抱腹絶倒エッチェン福井言葉 | 写袋 7 | 会話 (あいさつなど) | | | |
| | 福井ことば | 写絵袋 8 | 会話 (あいさつなど) | | | |
| 愛 知 | 名古屋言葉 第老輯 | 絵袋 4 | 会話 (あいさつなど) | 〔菊花會〕 | | |
| | 名古屋言葉 第弐輯 | 絵袋 4 | 会話 (あいさつなど) | 〔菊花會〕 | | |
| | 名古屋言葉 第三輯 | 絵袋 4 | 会話 (あいさつなど) | 〔菊花會〕 | | |
| | なごや言葉 第四集 | 絵袋 4 | 会話 (親子・同僚など) | 〔菊花會〕 | | |
| | なごやことば 第二集 | 絵袋 4 | 会話 (あいさつなど) | 〔菊花堂〕 | | |
| | — | 絵— 8 | 会話 (あいさつなど) | | | |
| 京 都 | 京ことば入 都日記 第一集 | 絵袋 4 | 会話 (尊王精神・女子挺身など) | 〔郷土名蹟顕彰会〕 | | |
| | 幽香しき情緒 京ことば | 絵袋 8 | 会話 (宵山・清水寺など) | 〔秀英堂〕 | | |
| | 上方言葉説明附 京都名勝ゑはがき | 写袋 15 | 説明 | 〔島田整美堂〕 | | |
| 大 阪 | 大阪言葉の名所ゑはがき | 写袋 8 | 説明 | 名所の説明 (番付あり) | | |
| | 大阪みやげ 言葉がおもしろい | 写袋 8 | | | | |
| | 上方言葉説明附 大阪名所ゑはがき | 写袋 18 | 説明 | | | |

| 府県名 | タ イ ト ル | 写真／絵 | 袋 枚数 | 内 容 | [発行所] |
|-------|-----------------|-------|------|---------------------------|---------|
| 広 島 | 方言エハカキ 備後ことば | 写真袋 7 | | 会話で名所を説明 | [島田整美堂] |
| 高 知 | 土佐言葉 | 写絵袋 8 | | 会話で名所を説明 | |
| 福 岡 | 博多ことば繪葉書 | 写真袋 8 | | 会話で名所を説明 | [大崎周水堂] |
| | 博多方言 福岡博多名所集 | 写真袋 8 | | 会話で名所を説明 | |
| | 博多 名所と方言 | 写真袋 5 | | 会話で名所を説明 | [周水堂] |
| | 方言エハガキ 博多言葉 | 写真袋 6 | | 会話で名所を説明 | [周水堂] |
| 佐 賀 | 佐賀ことば 佐賀みやげ | 写絵袋 8 | | 会話で名所を説明 | |
| 長 崎 | 長崎地方の方言 バッテン言葉 | 写真袋 7 | | 名所の説明など | |
| 熊 本 | 肥後俚謡 熊本ことば 漫画入 | 写絵袋 8 | | 名所の説明など | |
| | 肥後ことば あはがき | 写真袋 7 | | 名所の説明など | |
| | 阿蘇地方の方言 肥後ことば | 写真袋 8 | | 阿蘇を中心に名所の説明 | |
| 鹿 児 島 | 方言葉書 鹿児島言葉A | 写絵袋 4 | | 会話 (宴会・物売問答など) | |
| | 鹿児島言葉B | 写絵袋 5 | | 会話 (湯屋・散歩など) | |
| | 方言葉書 鹿児島言葉 | 絵袋 9 | | 会話 (宴会・物売問答など) | |
| | 滑稽 鹿児島言葉 | 絵袋 5 | | 会話 (家庭・夫婦喧嘩など) | |
| | 薩摩 鹿児島ことば | 絵袋 6 | | 会話 (家庭・問答など) | |
| | 方言葉書 鹿児島言葉 | 絵袋 5 | | 会話 (炊事・下宿屋の朝など) [俣野集景堂] | |
| | 方言エハガキ 鹿児島ことば | 絵袋 4 | | 会話 (挨拶・訪問など) [島田整美堂] | |
| | 鹿児島言葉 漫画繪はかき第二輯 | 絵袋 5 | | 会話 (小學校生徒・巡査さんなど) [四元文房堂] | |
| | 薩摩風俗 新版 鹿児島言葉 | 絵袋 5 | | 会話 (下女使・桜島噴火など) [文華堂] | |

〈凡 例〉

一：「タイトル，袋」無し